

(様式 3)

## 令和 6 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立中泉尾小学校協議会

### 1 総括についての評価

全国学力・学習状況調査、大阪市小学校学力経年調査、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果より、学校が多くの取り組みを進めながら、子どもたちの学力や体力を高めていくことがわかった。今年度の自己評価結果の総括は妥当であると考えている。今後も、継続して取り組みを行い、子どもたちの心と体の育成に努めてほしい。

### 2 年度目標ごとの評価

#### 年度目標

##### 【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】

- ・年度末の校内調査において「学校へ行くのが楽しい」に対して肯定的な回答をする児童の割合を 90 %以上にする。
- ・年度末の校内調査において「自分には良いところがある」と肯定的に回答をする児童の割合を 85 %以上とする。

#### 達成状況及び分析

- ・「学校へ行くのが楽しい」に対して肯定的な回答をする児童の割合は 90 %以上であった。友だち同士が仲良く学校生活を送り、様々な課題について、教職員が子どもや保護者と話し合いを進めているのがよくわかった。
- ・「自分には良いところがある」と肯定的に回答をする児童の割合は 85 %以上であった。子どもたち一人一人を大切にしながら、学校が子どもたちの自尊感情を高めてくれているのがよくわかった。

#### 年度目標

##### 【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・年度末の校内調査において「学習したことがよくわかり、いろいろやってみようと思う」の項目で肯定的な回答する児童の割合が 90 %を超えるようにする。
- ・年度末の校内調査において「体を動かして遊んだり運動したりするのが好きである」の項目で肯定的な回答をする児童の割合が 90 %を超えるようにする。

#### 達成状況及び分析

- ・「学習したことがよくわかり、いろいろやってみようと思う」の項目で肯定的な回答する児童の割合が 90 %を超えた。国語科を中心に、研究と研修を重ねてきた成果がよく表れていると分析している。
- ・「体を動かして遊んだり運動したりするのが好きである」の項目で肯定的な回答が 90 %を超えた。「SASUKE」の取り組みや、かけ足となわとびの体力向上の取り組みが効果的であったと考えられる。

## 年度目標

### 【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】

- ・授業日において児童の8割以上が学習者端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。
- ・第2期「働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を64%以上にする。

## 達成状況及び分析

- ・年間授業日の50%以上は達成することができなかった。心の天気の活用に課題があると分析している。来年度は、学校で共通理解して、心の天気を活用するよう、取り組みを推進してほしい。
- ・基準1を満たす教職員の割合を64%以上することできなかった。目標近くまでは到達しているので、個々の教員への声掛けとともに、教員間で連携して、役割分担や業務分担を進め、一人の教職員に負担のかからないよう、働き方改革を推進してほしい。

## 3 今後の学校園の運営についての意見

今後も、学校と地域が連携して、子どもたちのことを見守っていきたい。学校には、地域のできることを伝えてもらい、協力できることはしていきたい。学校園の運営についても、地域の意見を今後も伝えていくようとする。